

奈良県川上村

田舎暮らし×職+住

川上💡ng[🍃]

～かわかみんぐ～



多彩な自然に寄り添うように人々が暮らす川上村。

豊かな自然に抱かれ、のんびりとした雰囲気の中でみんなに囲まれながら、しっかりと育つ子どもたち。

田舎暮らしは、第2のふるさとを持つことです。

最初のふるさとは自分で選ぶことができませんが、2番目のふるさとは自分で選ぶことができます。

ぜひ川上村

にふるさとを

探しにきて

ください。



Kawa

kami

Village Nara



そして
第2のふるさと

川上村は
水のふるさと

水源地の村

みなさんの“からだ”とつながっています。

川上村をご存知ですか？名前のとおり、川の上流にある村。吉野川（紀の川）源流の村です。ここから生まれた水の流れは、遠く離れた奈良盆地も潤しながら和歌山の海へと至ります。

小さな村ですが、かけがえのない水をお届けする大切な役割があり、できるだけきれいな水を届けられるよう、環境を意識した村づくりに取り組んでいます。

水を育む森があり、森を育む営みがあり、自然に生かされる暮らしがある。そんな川上村を是非一度見に来てください。

私たちのからだの約65%は水です。
あなたのなかにも川上村の水がめぐっているかもしれません。

室町時代に遡る吉野林業の歴史

吉野林業発祥の地・川上村では、約500年間にわたって植林が進められてきました。広大な面積のほとんどが山林で、山を望めば、日本三大美林の一つに数えられる吉野杉の美林が広がっています。現存する最古の人工林「下多古村有林―歴史の証人」は、県内で初めて文化庁の「ふるさと文化財の森」に選定されました。

いのちを守り伝える吉野川源流―水源地の森

吉野川の源流部には、手つかずの天然林「原生林」が残されています。村では雨を蓄え、川をなし、あらゆる命を支える貴重な原生林を後世に残すため、約740haの原生林を購入し、「水源地の森」として守っています。

※一般の方は入山できません。

森と水の源流館が主催する「水源地の森ツアー」にご参加ください。

☆ CONTENTS



01 知る

- 6 山に暮らそう・田舎で暮らそう
- 7 意外と身近にある豊かな自然
- 8 移住希望者の方に川上村の「今」を紹介するオールインワンツアー
- 9 WEBでCHECK!

02 住む

- 10 移住を決意したら、川上住まいるネット
- 11 移住が決まったら
- 12 人知シェアハウス



03 働く

- 14 川上村で働く
- 17 - 川上村の事業所にインタビュー



04 定住

- 20 田舎暮らしの極意をお伝えします
- ご近所の話に耳を傾けよう
- 22 移住の先輩の話を聞こう



05 育児・教育

- 26 やまぶき保育園
- 27 川上村の教育
- 28 川上小学校
- 29 川上中学校

06 交流・遊び

- 30 ちびっこ増やし隊
- 32 むらしるべ



知る

山に暮らそう・田舎で暮らそう 川上村移住のノウハウをお伝えします

まずは川上村と知り合おう

「水源地の村」ならではの

スペシャルツアー

●水源地の森ツアー

森と水の源流館が主催する水源地の森ツアーは、私たちにかけがえない水を届けてくれる源流の森を訪ねます。森の入口にそっとおじやまし、その魅力にふれることができる川上村ならではの自然を体感できるガイド付きツアーです。深い自然と美しい源流の水をご体験ください。

また「森と水の源流館」では、川上村の自然に触れる様々なイベントを開催しています。これらのイベントは源流の自然、水源地を守ることの大切さを学ぶことができます。



施設名 森と水の源流館
所在地 〒639-3553 吉野郡 川上村宮の平
TEL: 0746-52-0888 / FAX: 0746-52-0388
URL: <http://www.genryuu.or.jp/>

森と水の源流館

「森と水の源流館」は、私たちの生活に欠かすことのできない「水」を育む豊かな森をはじめ、自然の持っている「美しさ、楽しさ、不思議さ」を多くの皆さんに知ってもらおう施設です。源流の森の四季折々の自然の営みを感じられる再現ジオラマや巨大パノラマ映像、川に棲む生き物たちに出会える大型水槽や、たっぷり遊んで学べる体験プログラムなどが楽しめます。

知る

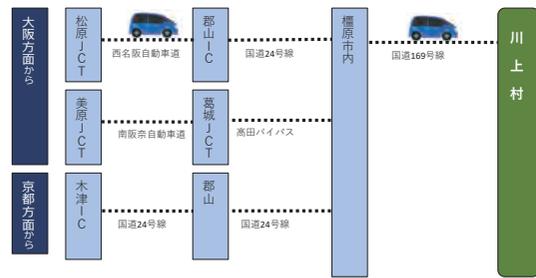
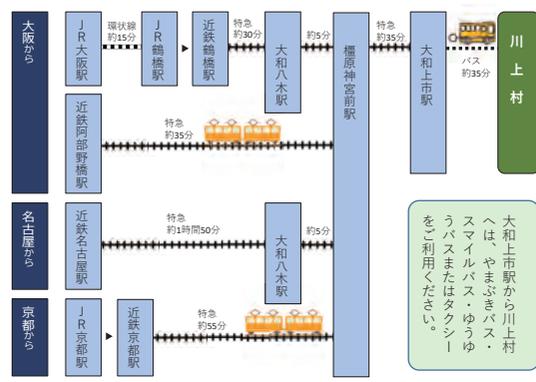
意外と身近にある豊かな自然

●大阪から2時間で

川上村は県南東部、吉野川（紀の川）の源流に位置する水源地の村。国内有数の多雨地帯として知られる大台ヶ原に隣接しています。その大台ヶ原を分水嶺に紀伊水道へ流れ出る一級河

川、吉野川（紀の川）があります。その最初の一滴が生まれる水源地の村である川上村は、流域に水の恵みを届ける大切な役割を担っています。

そんな川上村へは、大阪方面から車で約1時間30分、電車では約2時間でアクセス可能となっています。



【周辺には何がある？】

- < 病院 >
南奈良総合医療センター
役場から車で40分
- < スーパー >
役場から車で20分
- < コンビニ >
役場から車で15分
- < 役場周辺 >
郵便局・診療所
南都銀行・JA（農協）
ホテル杉の湯・道の駅



役場から車で50分の距離にある橿原市の大型ショッピングセンター、映画館もあります。



吉野ストア上市店



南奈良総合医療センター

知る

移住希望者の方に川上村の「今」を紹介するオールインワンツアー

川上ingツアー

●川上ingツアー
川上ingツアーは「川上村の職と住」を知って頂くためのツアーです。

川上村に興味のある人、住んでみたい人を対象に役場職員が村内をご案内します。保育園・学校見学や事業所の見学、空き家や村内の施設見学など川上村の「今」が分かるツアーです。川上村に直接触れて、直接感じて田舎暮らしの不安を解消してください。このツアーをきっかけに移住された方もいらっしゃいます。

ツアーの内容は募集時期により変わります。求人募集中の事業所や入居者募集中の村営住宅・空き家紹介など最新の内容でツアーを実施しています。地元の方と交流する機会もあります。リアルに川上村を知ることができる体験ツアーです。



川上ingツアーでは、先輩移住者の方との交流会もあります。仕事のこと、学校のことなど、移住に関する不安や疑問をどんどん質問してみてください。先輩移住者の方が本音で答えてくれますよ。(交流会の会場はツアーによって変わります。)



WEBでCHECK!

川上村の紹介や移住イベント情報を発信しています!

JOIN ニッポン移住・交流ナビ



<https://www.iju-join.jp/prefectures/nara/229005/>

全国移住ナビ



<https://www.iju-navi.soumu.go.jp/onl/nara/kawakami/>

平成30年3月実施のツアー内容です。内容はツアーにより変わります。



参加対象：20歳代～40歳代の方(単身者・家族の方)
 集合場所：近鉄大和上市 9:30
 川上村役場 10:00
 参加費：無料(食事はご用意します)
 ただし、宿泊費をご負担願います。
 大人：3,000円/小人：1,000円/乳幼児：無料
 募集人数：10名程度1泊2日・各日どちらか参加でもOK
 行程：1日目 10:00 川上村集合
 → 村内事業所・保育園・小学校見学
 住宅などの見学
 → 先輩移住者などとの交流会
 2日目 9:00 宿出発
 → 村内施設・住宅などの見学
 → 14:00 川上村解散
 (近鉄大和上市駅まで送迎します)

YoutubeでCHECK!

動画で川上村の様子を配信しています。

山に暮らす Vol.1



<https://youtu.be/fkArP2QaZi4>

山に暮らす Vol.2



https://youtu.be/-a0i_Uqhuwc



事業所見学

保育園・学校見学

空き家見学

定住 移住が決まったら

●まずは顔見知りになりましょう

地区の方々は「どんな方が住んでくれるんだろう。」という不安を持たれていると思います。不安な気持ちはどちらも同じですよ。まずは、顔見知りになるため区長さん（地区全般のとりまとめをしてくれています）、ご近所の方に挨拶に行きましょう。住まいのネット登録者の方には、定住促進課担当者が同行させていただきます。

●地区の行事には積極的に参加しましょう

地域のお祭りや人足（区民で行う美化活動）、その他行事などには積極的に参加しましょう。空き家所有者さんもこういったお付き合いをしてくれる方の入居を望んでいるのはもちろん、ご近所の方と仲良しになれるチャンスでもあります。

また、男性の方は強制ではありませんが、地元の消防団の活動にも参加されてはいかがでしょうか。

●地域の決まり

水道は簡易水道になっており、各地区の水道組合で運営されています。加入金や水道料金はそれぞれの組合によって変わります。

また、毎月の区費（自治会費）も各地区で変わります。

●村には田んぼがありません

急峻な土地が多いため、専業農家さんもいらっしゃいません。家庭で食べる程度の野菜を作っている方はたくさんいらっしゃいます。家庭菜園をしてみたい方はご近所の方と仲良しになったら作り方など教えてもらえるかもしれませんね。

川上住まいるネット(空き家バンク)とは？

村内の空き家の有効活用として田舎暮らしを希望する都市部の方に、賃貸可能な空き家を紹介することで、移住を促進し、人口減少に歯止めをかけるとともに、集落の活性化を図ることを目的としています。



川上住まいるネットホームページ

<http://www.vill.kawakami.nara.jp/move/docs/2017020200295/>



登録

STEP 01

「川上住まいるネット」の空き家情報には、川上村で現在借手募集している物件の情報を一部掲載しています。まずは登録申請をしてください。登録後、空き家情報をご連絡します。
※登録の条件として、地域の行事にご参加いただけ、ご近所との付き合いができる方に限ります。

現地見学

STEP 02

気に入った物件があれば、あるいは川上村のことを知りたいと思ったら、その旨をお伝えください。役場担当者が、物件や川上村をご案内します。実際に物件を見てもらって、気に入ったら、所有者をご紹介します。

契約

STEP 03

役場が賃貸の仲介を行うわけではありません。その後の交渉は、所有者と直接交渉を行っていただきます。ただし、役場は契約において、賃貸借契約書（川上村役場作成）の利用をお勧めしております。

川上村生活開始

STEP 04

いっぱいの自然に囲まれて四季の変化を五感で感じられる川上村での生活は、かけがえのない家族と過ごす時間を有意義なものにしてくれるに違いありません。活気にあふれる明るい村づくりにも参加いただきながら新しい暮らしを大いに楽しんでください。

住む

移住を決意したら、川上住まいるネット
(空き家バンク)

住む人知 シェア ハウス

川上村定住への足掛かりに

人知シェアハウスは、川上村で田舎暮らしや起業、林業等の仕事のために移住を考えている18歳〜40歳までの若者のための住宅です。

このシェアハウスでの生活を通じて川上村の暮らしに慣れ親しんでもらうことを目的とし、川上村への定住の足掛かりとなる施設として活用します。



個室

プライベート空間をしっかりと確保。自分だけの時間も過ごせます。



川上らしさのある家

室内には、日本三大人工美林に数えられる川上産吉野杉をふんだんに使用しています。

木のぬくもり、香りを生活の中で感じる事ができます。

また、昔ながらの土間があり、玄関から裏口へと通り抜けることができ、汚れた足元なども裏口で洗うことができます。訪れたお客さんと話をしたり、ちょっと一息つける場所があるのも田舎ならではの魅力です。

ダイニングキッチン

広々としたダイニングキッチンです。入居者の交流・団らんの場として利用していただきます。

テーブル・イス・カウンターは川上産吉野杉を使用し、吉野杉工房で制作しています。



入居概要

対象者：18歳から40歳までの単身者
敷金：家賃3ヵ月分
家賃：12,000円
入居期間：最長5年
共益費：6,000円
備品：エアコン・簡易ベッド・シーリングライト
その他：Wi-Fi利用可能

構造：木造平屋建て
延床面積61坪（約200㎡）
吉野材（無垢材）使用量
杉 28.76㎡
桧 6.70㎡
総使用量 35.46㎡



洗面スペース



和室



外観

働く川上村で働く

ここでしかできない特殊な技術を受け継いでくれる人、品質管理を任せられる人を求めています。未経験でもやる気があれば、挑戦していただけます。



(株)東谷製作所
(金属加工)
ISO9001認証取得事業所
<http://www.higasitani-ss.com/>

東谷 大輔 さん
〒639-3541
川上村大字東川1656番地
TEL: 0746-53-2014
FAX: 0746-53-2457



既存の仕事は安定していますので、新しいことにどんどんチャレンジしています。機器類も最新のものを取り入れていますので、今までにない木製品の開発に取り組みたい。多彩なアイデアや技術を持った方に来て、新しいもの作りに挑戦していただきたいです。



(有)菊谷木工所
(木工製品の開発、製作)
<http://kikutani.net/>

菊谷能樹 さん
〒639-3541
川上村大字東川798番地
TEL: 0746-53-2154
FAX: 0746-53-2306



【どんな職種・お仕事ですか？】

金属加工業です。空調や給湯の銅パイプの加工（曲げる、接合、穴あけなど）が得意分野で大手メーカーの下請けの仕事をしています。

特殊な技術があるので、こんな田舎でも仕事があるんです。難しいとされているステンレスの加工技術にも挑戦しています。まだまだ成長する分野ですので、こちらからどんどん提案して新しい分野を開拓しています。

【職場はどんな雰囲気ですか？】

従業員の年齢層はとても幅広く、10代から70代まで、ある意味で終身雇用です。仕事中は忙しいですが、職員みんなでパーベキューをするなど、和気あいあいとしています。社内での技術取得制度もありますので、技術を磨きたい方にも最適です。

【アピールポイントはどこでしょうか？】

特殊な技を持つ職人がいて、他には真似できない技術があり、各メーカーから信頼を得ています。やる気さえあれば誰でも会社での中心的存在にステップアップできる環境があります。品質管理に興味のある方、もの作りの好きな方はぜひ一度お越しください。



【どんな職種・お仕事ですか？】

木工製品のデザイン、開発、製造です。現在は合板でシステムキッチンのパーツなどを製造していますが、地元の木材を使った家具や小物も製造しています。デザイン性のある、使った楽しい木製品の開発に力を入れています。

【職場はどんな雰囲気ですか？】

仕事では皆さん黙々と仕事しているので、自分の仕事を全うしているといった感じですね。

【アピールポイントはどこでしょうか？】

受注生産でシステム化が確立されていて、納期対応がしっかりしているので、取引先からは信頼していただいています。また、機械設備が充実しているため、図面さ



銅パイプの加工から、より難しいステンレスパイプへの加工へと技術革新を続ける。



新しく導入されたロボット。職人の技術と最先端の技術がうまく融合している。

えあれば何でも作ることができるので、新たな製品を作ることができます。アイデアが形にできる職場です。地元の木材を使った木工製品を開発・製造したいと思っていますので、木工製品のデザインや開発など、アイデア一杯の方を求めています。

現状は機械で製造することが多いのですが、今後はカンナやノミなどの道具を使える方にも来ていただけるとありがたいですね。



働く川上村で働く

室町時代に遡り500年の歴史ある吉野林業を、次の500年に繋ぎ、暮らしを支える日本の木の文化を育み、世界に誇れる吉野杉・吉野松の「品質」と「価格」を追求しています。



一般社団法人
吉野かわかみ社中
http://yoshinoringyo.jp

事務局長 森口 尚 さん
〒639-3553
川上村大字迫1335-9(林材会館内)
TEL: 0746-52-9555
FAX: 0746-52-9556



【どんな職種・お仕事ですか？】

木材利用の減少や価格が低迷する中、本村の基幹産業である「吉野林業」を再生するため、村内の5つの団体（川上村、川上村森林組合、川上郷木材林産協同組合、吉野木材協同組合連合会、川上産吉野材販売促進協同組合）が手を組んで、山づくりから加工・流通・販売まで一体的に実施することで、林業技術の継承や後継者の育成、村産材の安定供給体制と情報・販売拠点づくりを進めています。

【主な事業を教えてください】

森林マネジメント部では、森林資源調査・林業施策検討・モデル施業実行支援（集材システム等検討）・人材育成支援・植林・基盤整備支援などです。

販売マーケティング部では、川上産吉野材ブランド化・新商品開発、需要開拓・情報発信拠点構築・観光林業など幅広く展開しています。

【どんな人材を求めていますか？】

林業GISやデジタル測量機器などを活用して森林の調査・分析を行える技術者と、吉野材の良さをユーザーに熱く伝えられる営業マンを求めています。

500年続く吉野林業の担い手を募集しています。後継者不足のなか、林業の若手育成は森林組合の大事な事業です。銘木のふるさと川上村と一緒に山を育てませんか？初心者の方でも大歓迎です。



川上村森林組合
(森林管理)
http://web1.kcn.jp/kawashin/

組合長 南本 泰男 さん
〒639-3553
川上村大字迫1335-8
TEL: 0746-52-0011
FAX: 0746-52-0932



なお、募集人員は限られていますので、ご希望の方は事前にお問い合わせください。

【アピールポイントはどこでしょうか？】

吉野かわかみ社中は、5つの団体が連携し、500年の歴史ある川上村の林業の存続をかけた平成27年に設立されました。各団体の強みを活かし、森林施業から製材・加工・販路の開拓まで幅広く事業を展開しています。



森林管理から木製品の製作・販売まで幅広く事業展開をしています。

【アピールポイントはどこでしょうか？】

吉野林業の担い手になりませんか。500年以上続く吉野林業の伝統的な技術の習得ができます。林業は未来に続く仕事です。

山林作業者は、基本的に日給月給なので雨などの天気の良い日には山仕事はお休みになります。しかしうちには、木くずリサイクル施設の工場があるので、雨の日はそちらで働いてもらうことができます。天候の影響で仕事ができないときのバックアップをしっかりと準備し、年間を通じて、安定的に作業ができる環境を整えています。

【今後の事業展開は？】

引き続き山林作業者の募集をして、山林作業班をどんどん増やしていきたい。そして、活力ある森林組合にしたいです。





定住 田舎暮らしの極意を お伝えします

ご近所の話に耳を傾けよう

村内には、多くの集落がありますが、北和田地区は移住された方の多い地区です。この地区の女性9名、男性1名の方に、地区の話や嫁いできた時のお話、新しく移住された方のことなどをお聞きしました。

【昔の思い出を教えてください】

今回お集まりいただいた方は、北和田に住まれて50年〜60年の方が多く、中には北和田のことなら何でも知っているという方もいらっしゃいました。今は移住者の方を親切に受け入れている北和田地区でも、昔は、村外から嫁いできた方は「よそ者」と呼ばれたそうです。今はそんな言葉すら使わなくなりました。今はお嫁さんに気を使うという方が多く、これも「時代の流れやな」と笑っておられました。昔の田舎ならではの苦勞話に相づちを打つ方が多く、当時の苦勞を知ることができました。

【移住者の方について】

移住者の方についてお聞きしたところ、皆さん口を揃えて、「移住者の方から声をかけて欲しい」という意見が多く出ました。

「おっちゃん、おばちゃんから声をかけにくいのでそっちらから声をかけて欲しい。おばちゃんはおしゃべりなのでいくらでも話をする」「少し離れた場所に住んでいるので、入ってきている人と接点がない」「交流がないと出会えないので交流の場には積極的に参加して欲しい」「自分から声をかけることはしにくい」という声が多く、少し遠慮気味に、遠巻きに見ていることが分かりました。

移住者の方はできるだけ行事等の交流できる機会に参加して、積極的に声をかけてください。きつと喜ばれると思います。また「子どもの声を聞くのが嬉しい」「小さい子はみな自分の孫のように思う」という方も多く、新しい家族が

住まわれることを大歓迎しているようでした。

【田舎暮らしにコツはありますか？】

「新しく移住してこられる方に、田舎暮らしのコツのようなものをアドバイスしてください」との問いかけに「特にアドバイスすることはないなあ」という答えが多く、その理由を聞いてみると「若い人は車を持っているので自分で好きに出かけることができる」ということでした。移動手段に制限があった昔に比べて、道路も良くなり、少し走れば買い物や遊び、食事に行けるなど、田舎暮らしのハードルが低くなっているのを改めて感じました。

●区長さんからのメッセージ

若い人が入ってきてくれることはとても嬉しいことです。

日ごろから、元々の住民も移住者も家族だと思っています。

移住者が集落の中に溶け込みやすいよう、困りがないかなど声掛けをしたりしながら気にかけています。分からないこと、不安なこと、知りたいことがあれば気軽に声をかけてください。



週に一度ふれあいセンターで卓球を楽しむ



北和田地区



今回お話を聞かせていただいた皆さん



移住者の方も参加して、話しは盛り上がりました

定住 移住の先輩の話しを聞こう

今回の移住の先輩は、移住5年目の猪腰さん、2年目の三宅さんと百々さんの3名。やまぶき保育園のお迎えの時間を利用して、移住の先輩方に移住のヒントをお聞きしました。

【移住のきっかけ】

皆さんに川上村との出会いや田舎暮らしのきっかけをお聞きしました。

「田舎暮らしがしくて、ネットで検索していた時に川上村を見つけたんです。一度行ってみようかってことで初めて訪れた時に、田舎の割りに施設が充実しているな、良いなと思っていたらすごく良いタイミングで住宅が見つかって移住を決めました。」という猪腰さん。

三宅さんと百々さんはご主人の転職をきっかけに川上村と出会い、田舎暮らしを実現しました。この3名に共通していることは、トントン拍子に移住が決まったこと、あまり迷わなかったということです。田舎暮らしは、出会いとタイミングが大切だと、改めて実感しました。



移住5年目の猪腰さん

【移住して感じたこと】

「季節を感じながらの生活に幸せを感じる。旬の野菜やおかずをいただけるのもありがたい、窓を開けると緑が見えるのが嬉しい。」などの田舎暮らしならではの感想が多く、「今住んでいるところは、冬になると日当たりが悪くて太陽が恋しい。」という意見も。山に囲まれた山間部では、冬の日照時間が短い場所が多くあります。家探しは「絶対に妥協できないことリスト」と、「妥協しても良いことリスト」を作るのがコツかもしれません。

【近所付き合い】

田舎暮らしで大切な近所や地区との付き合い方を聞いてみました。「昔の知恵などを教えてもらえてありがたい。」「地区でのお祭りや、行事が結構あってそうゆうのにも積極的に参加しているので、地元の方との交流もできていい。」「移住して色んな人との関わりができて、以前より子育てがしやすくなった。人に頼れるということがありがたく嬉しい。つながりは大事だなと感じるようになった。」などの感想が多く皆さんうまく地域の方と交流されていることが分かりました。また「近所の方にどこまで頼っていいのかなど、距離感は今、模索中。」とお話もありました。

【子育て】

子育てに欠かせない保育園や学校について



移住2年目の百々さん



移住2年目の三宅さん

は、「以前は子どもがマンモス校に通っていたので、行事があっても学校に行くのが億劫だったけれど、今は保育園や学校の行事にも楽しく参加している。子どもの数も少ないので一人ひとりきちんと見てもらっていると感じられる。」「高校へ通学するために乗る早朝のコミュニティバスで友だちと会えるのが楽しい。」という声を聞くことが多い、など小さな村ならではのメリットを上げることが多くありました。その反面「今はまだ子どもも小さいけれど、高校に通うようになったら、交通面で自宅から通えるのかな」という意見も。高校への通学、塾への送迎などの必要がありそうな方、通勤で電車を利用する方は、少しでも駅に近い場所や送迎しやすい所を選ぶなど工夫が必要になります。

【困っていること】

困っていること、心配事で一番多かったのが子どもが病気になった場合。「村の診療所には、小児科がないので、子どもはまだ小さいし、何かあった時が心配だ。」という声です。村に限らず小児科医が減少しており、普段から子どもが病気になったときの対処方法を相談して考えておくのも良いようです。

【今後のこと】

「お母さん同士のつながりを増やしていければいいなと考えている。」「一緒にご飯を作って食べたり、年配の方に味噌やこんにゃくの作り方を教えてもらったりできたらいいなあ。」「今までは集まるって言ったら、お店でランチしようか・・・だったけれど。」「不慣れな中でも、工夫して生活していくことを子どもたちにも見せられたらいいと思う。」「それぞれの個性を生かして、みんなで何かできればいいと思う。」「などの思いを話していただきました。皆さんのお話がヒントになって、少しでも多くの方が田舎暮らしを楽しんでいただけたらと願っています。





育児 やまぶき保育園



【保育園の特徴について教えてください】

本園は子育て支援センターを兼ねている保育園なので、未就園児対象の「のびっこ広場」、子育て中のお母さん対象の「ニコニコマザールーム」を毎月1回開催しています。ほかにも未就園児や小学生（放課後）の遊び場として園庭の開放もしています。

園児数が少ないこともあるので、毎日の遊びも異年齢児が共に過ごすことも多く、年中、年長さんは自然と小さいお友だちのお世話をしてあげるやさしさが身につく、小さいお友だちは、お兄さんお姉さんに遊んでもらう喜びや楽しさを感じるなど共に良い関係で育ちあっています。

園児数が少ないので、近隣自治体のこども園と年に数回、お互いの園を訪問したり、小学校低学年とも交流を図っています。最初は恥ずかしがっていた園児たちも、回を重ねる度に仲間意識が高まり、久しぶりに顔を見ると懐かしがって遊んだり、帰る際には名残り惜しそうな姿も見られます。

【PRポイントはありますか】

園庭には川上村の木材を使った大型遊具があり、ボルダリングや丸太登りなど身体を動かして遊ぶことができます。また、近くの遊歩道は園児のマラソンコースにもしており、周りに広がる土手を駆け上ったり、滑り降りたりと自然に触れながらの体力作りの環境にも恵まれています。



子どもたちが大好きなお散歩コースには図書館があり、園にはない絵本を見たり、川上村に住んでいる生き物が見られる「森と水の源流館」に立ち寄りたりすることも

あり、自然探索をしながら楽しんでいきます。本園は村の皆さんから「村の宝物」と愛され見守られながら、「地域に根ざした保育」を目指しています。地域の方々との交流では、お寺の花祭り、丹生川上神社上社へのお参り、高齢者デイサービス利用者の方との交流訪問、ちびっこポリスの衣装を着て園児手作りの交通安全全マスコットの配布や10月にはハロウィンの衣装を身にまとい、役場や郵便局などを訪問しています。

また、村民大運動会の参加、そして中学生に一番人気が高い保育園での職業体験の受け入れなど、たくさんのお客様を通して子どもたちの生きる力の火種を灯せたらいいなと願っています。



教育 川上村の 教育

美味しい水・広がる緑のパノラマ。川上村は、吉野川の最上流に位置する水源地の村として、都市にはない豊かな生活を営んでいます。

今ある山・水・自然・環境を知り、守り続けていくことの大切さを学び、考え、川上村を誇りに思える児童・生徒の育成に努めています。子どもたちは素直でいきいきと輝き、自然と相手を思いやる心が生まれる心でいきま

す。こんな自慢の子どもたちと勉強や遊びを一緒にしませんか。



【川上村義務教育プラン】

小学校・中学校・教育委員会が連携し、9年間を見通し一貫性を持たせた教育プランを策定、実施しています。

【ALTを活用した英語教育】

小学校では国際理解と外国語活動の充実、中学校では実践的コミュニケーション能力の向上と英語検定合格に向けた指導に力を入れています。また、幼児期から異文化に慣れ親しませる取組としてALTによる保育園訪問も行っています。



【水源地の村だからできる自然との触れ合い】

水源地の村づくりを進める第一歩は、子どもたちに川上村の自然や環境に親しみを持たせることと考えます。川上村の水生昆虫や野生生物と自然との関わりについて学ぶ中で、生物に優しい環境づくりは何か、引いては人間にも優しい環境づくりを感じとれる心の育成に努めます。

本州で唯一『ゴイシツバメシジミ』というチョウが村で確認され、国指定天然記念物になって

います。その他にもギフチョウやニホンカモシカなどの珍しい動植物も豊富です。

【校舎一元化をめざす】

近い将来、保育園・小学校・中学校を一箇所に集め、新しい教育に取り組む計画です。



教育

川上 小学校



【学校の特徴について教えてください】

豊かな自然に恵まれ落ち着いた環境で、川上村唯一の小学校として村の人々に愛されている学校です。

毎朝、登校する子どもたちを先生方が玄関で迎え、挨拶の声をかけています。

また、地域の自然や伝統文化に触れるため、村の方を招いたり、出かけて行ったりして川上村の文化財や歴史について学んでいます。

「自分大好き 学校大好き 川上大好き」をキャッチフレーズに、「心豊かで、いきいき学ぶ 川上っ子」の育成をめざしています。



教育

川上 中学校



【学校の特徴を教えてください】

学校の施設・設備は充実しており、普通教室は木質化され書画カメラやプロジェクター、エアコン等が設置されています。

また、先生と生徒の距離が近く、マンツーマンに近い形でゆったりとした空間で学習することができると好評です。

また、生徒と教職員が一緒に掃除をし、校舎内外もとても美しく保たれています。



水のつながり

吉野川分水の流域校との田植え・稲刈り体験を行い、吉野川（紀の川）の上下流に住む児童同士の交流を行っています。



ICT機器を活用した遠隔授業

ICT機器を活用し、児童たちが主体となって考える授業にも力を入れています。1人1台のタブレット端末を使用し、近隣校と遠隔での授業交流も行っています。



大規模校との授業交流

多人数の中に入り、同学年の児童と交流学習できる貴重な体験です。



連携大学による理科教室

大阪工業大学の教授と学生から理科の楽しさを親子で学びます。



きめ細かな指導による学力保障

少人数を生かした個人に応じた指導で、自ら学ぶ力を育てます。



夏休みには学力向上のための学習会、定期テスト前には放課後学習があります。

全員参加の部活動

全員が運動部活動と文化クラブ活動に所属しています。文化クラブ活動では地域の方たちと触れ合う機会もたくさんあります。



大規模校との教育交流

大勢の中でも普段から培っている力を発揮して、物怖じせず堂々と自分の考えを発表するたかましい姿があります。



全校給食

「食器を持って正しい姿勢で食べよう」と給食指導を行っています。またセレクト給食やリクエスト給食も行っています。



全校スピーチ

全児童の前でスピーチする機会を設けています。よく分かるように話そうとがんばっています。



かみセットタイム

全児童が主役を務めるかみセットタイム学習発表会。一人ひとりが活躍できる場面がたくさんあります。



異年齢との交流

異年齢の関わりを大切にするために、全児童で縦割り班を作り、遊びや清掃活動などを行っています。



高齢者との交流

地域の方たちと触れ合う機会や、郷土を知る取り組みをたくさん行い、故郷を愛し誇りに思う心を養います。



高齢者との交流

地域のお年寄りを大切に思う心の育成に努めています。独居のお年寄りや年賀状のやりとりもしています。

全校登山

3年間で村内の3つの名山を制覇します。大自然との触れ合いの中で、豊かな心とふるさとへの誇りを育てます。



和太鼓の演奏

地域に伝わる「やまびこ太鼓」を練習し、運動会や文化祭、郡の音楽会で演奏します。地域の文化を継承しています。



育見 交流 ちびっこ増やし隊

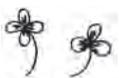


「川上村の子育て世代が楽しく交流できる時間を増やしたい」というテーマで活動されている「ちびっこ増やし隊」では子育て世代の交流会として、お花見会やバーベキューを実施しています。

赤ちゃんから高校生までが元気に遊び、お父さんお母さんはその様子を見守りながら交流を深める。数少ない保護者同士の交流の場として、毎回50名以上の子育て家族が集まり、村での暮らしを楽しんでいます。



ちびっこ増やし隊の活動は、Facebook でご覧いただけます。
<https://www.facebook.com/fuyashitai>



【最近は大阪方面の移住者が増えていますね！】
 貝谷 — 嬉しいですね。川上 in ンツアーの交流会にも参加してたんですが、その時の方とは大阪出身という共通点もありましたし、体験談を聞いてもらい、親近感を持ってもらえたようです。子どもたちもすぐに打ち解けていました。

中居 — 私たちとの交流会で川上村での暮らしが少しでも感じ取ってもらえたようで嬉しかったです。選択肢が多い中で川上村の対応が一番良かったのも決め手の1つだったようです。初めの印象って大きいですよ。

貝谷 — 東京から移住するなら長野や北海道などが多いのかなと思います。大阪からだとなら1時間半あれば川上村に来れるし、移住も考えやすいんじゃないかなあ。

環境も良いし、おじいちゃん、おばあちゃんにも遊びに来てもらいやすいですよ。

川上村ちびっこ増やし隊で活躍中の大阪出身の貝谷さんと地元の中居さんにお話を伺いました。

【貝谷さんは結婚して川上村に来られて不安な点がありましたか？】

貝谷 — 川上村に来た当初は「話し相手がいるのかなあ」という位の不安はありましたがあまり気にはしていなかったんです。子どもが生まれて子育てをするようになると子どもの遊び友だちがいらないことに気がついて・・・でも仕事のことを考えると引越すこともできないし・・・

周りでは子どもが高校生になると村から出ていく人がいるんです。通学の面から考えると仕方ないことも知れませんが引き止められる手段があればいいと思います。



遊び

むらしるべ



● 自然豊かな村を遊ぶ

「自然豊かな村に移住したらどんなことが体験できるだろうか」と期待は膨らみますよね。今、地域おこし協力隊OGが中心となって「むらしるべ」という活動が始まっています。村をもっと知りたい、色んな体験をしたいという方は、まず参加してみたいかががでしょうか。「むらしるべ」には、子育て世代を中心に保護者とお子さんに参加して貰います。実は、村へお嫁に来られたお母さんも多く、これまで体験を提供する機会はそう多くありませんでした。先輩移住者だけでなく、このような保護者やお子さんも参加しており、自然や暮らし、文化を学びながら、さまざまな体験とともに交流を深め、地域での暮らしをより楽しんでもらえればと取り組んでいます。

水源地の村の夏は、何と言っても川遊びです！

美しく輝き、透きとおった清流でシャワークライミングや飛び込み体験。ライフジャケットを装着し、指導者もいますので、安心して楽しんでもらえます。

このように、本物に触れる「直接体験」（原体験）はお子さんの人格形成に影響があると言われています。現在、テレビやインターネット

等の膨大な情報による「間接体験」にとどまり、「直接体験」が減少傾向にあります。触ったり、嗅いだり、味わったりする活動をとまなう「直接体験」ができる子育てをしてみませんか。



一般社団法人

支援 かわかみ らいふ

村民の日々の暮らしを支え
川上村を元気にする「かわかみらいふ」
をご紹介します。

● 一般社団法人かわかみらいふとは

東部地区にある川上村ふれあいセンターをリニューアルし、「コミュニティカフェ」や「巡回診療」、「卓球などのサークル活動支援」などを実施しています。

スタッフはすべて村民から採用しており、新たな雇用の場の創出や生きがいづくりに繋がっています。

さらに、買い物支援として地域のスーパー「吉野ストア」と生協「ならコープ」と連携し、食料品などを中心とした移動スーパー運行と宅配代行を行っています。

● かわかみらいふの仕組みについて

かわかみらいふの拠点施設として、村民が気



軽に集う場づくりを目指しています。

- ・ 開館日：月曜日・金曜日
- ・ 常にスタッフが常駐しています。
- ・ 移動スーパー運行と宅配事業の拠点となります。
- ・ 役場や診療所と連携して、巡回診療や健康教室を開催しています。
- ・ コミュニティカフェを運営しています。
- ・ 自主活動、サークル活動の場として利用できます。



移動スーパー運行・ならコープの宅配代行

吉野ストアと連携した移動スーパー・かわかみらいふ号は村内の全地区を回り、生鮮品や日用品、ごみ袋などを販売しています。また、ならコープの宅配事業を受託し、皆さんが注文した品物を長い階段があるご自宅や駐車場から距離のあるご自宅までお届けしています。



ガソリンスタンド・灯油配達業務

「かわかみサービスステーションの運営」すべての村民が安心して村に住み続けるためには、重要な生活基盤としてガソリンスタンドの存続が不可欠です。運営方法を工夫して「村民による村民が利用しやすいガソリンスタンド」を目指しています。



医療福祉

乳幼児・子ども医療費助成金

0歳から18歳の子どもに対して、医療費の全額を助成。

子どもの予防接種

予防接種法に基づく定期・任意予防接種に伴う経済的な負担軽減のため、接種費用を全額負担。
(小中高生のインフルエンザ予防接種においては上限2,000円を助成)

Q&A

question

01

川上村に移住したいのですが、どこに相談をすれば良いですか？

川上村ってどんなところ？田舎暮らしに興味はあるんだけど・・・

そんな疑問があるアナタ。まずは川上村定住促進課にお問い合わせください。

“川上ingツアー”で暮らしを少し覗いてみることもできます。

question

02

買い物や交通面などに不便はありませんか？

村には“やまぶきバス・ゆうゆうバスというコミュニティバス”が走っていますが、保育園の送迎などには自家用車は欠かせないと思います。

スーパーは村の中心部(役場)から約20分の所にあります。また、移動スーパーや生協の宅配サービスもあります。

question

03

子育て支援制度はありますか？

妊娠時の健康診査費の補助から高校生までの医療費を全額負担するなどの補助金制度が整っています。

また保育園・小中学校では少人数ならではの行き届いた教育や田舎ならではの自然体験などもすることができます。

question

04

起業支援はありませんか？

商売をしたい。地元の食材を使った新商品を作りたいなどのお考えをお持ちの方、村では「産業振興支援補助金」を設置し、皆さんを応援します。

子育て

子ども祝い金

0歳から2歳までの子どもがいる家庭に対し交付。
(村内に居住して1年を経過している方が対象)出生時10万円 1歳児10万円 2歳児10万円

川上村立小・中学校教材費等無償化事業

川上小・中学校に在籍する児童、生徒にかかる教育活動費(教材費)や修学旅行費を負担。

川上村習い事補助金

子どもの習い事(芸術・文化・スポーツ・学力補充)に対する助成。
1種目の年間受講料等の3分の1(上限2万円)1人3種目まで。

川上村子育て応援手当

16歳から18歳の子どもを養育する世帯に対象となる子ども1人に月額5,000円を給付。

川上村高等学校通学費補助金

川上村に在住し、高校へ通っている者を対象に通学費を助成。通学距離に応じて、最大8,000円の補助。

奨学金貸付

高校、専門学校、大学に進学する際に、経済的な事情で学業を断念することの無いように支援。
高校、専門学校 年額30万円 大学 年額36万円

住まい

川上住まいるネット(空き家バンク)

村内の空き家の有効活用として田舎暮らしを希望する方に、賃貸可能な空き家を紹介。

豊かな暮らしづくり住宅補助金

村内で快適な住環境の整備と、安全で安心な暮らしづくりのために住宅の新築、リフォーム、購入等を行う者に補助金を交付。対象経費の1/2で上限100万円。川上産吉野材を基準値以上使用した新築、リフォーム、村の耐震診断を受診したリフォームについては上限200万円。

しごと

川上ingツアー

川上村の「職」と「住まい」を紹介する移住応援ツアー。ハローワークを通じて求人している事業所の紹介などを実施。

川上村産業振興支援補助金

地元住民、事業所及び団体が、地域資源を活用した商品の開発や起業、既存商店のリニューアル等に対し補助金を交付。補助対象経費の2分の1以内で、上限300万円。

田舎暮らし



職 + 住

奈良県川上村の「職と住」をご紹介します

川上ing ツアー開催

川上村が総力をあげて、田舎ぐらしを応援します。
田舎で暮らしたいけれど仕事が心配・住まいが心配。
そんな田舎ぐらしの心配にお応えします。

川上ing ツアーは、川上村の職と住、
生活環境などをご案内します。

ミニツアーは“随時”開催しています。

「川上ing ツアー」のお申し込み・お問い合わせはお気軽にどうぞ

< 川上村役場 > ☎ 0746-52-0111 「川上ing ツアー係」とお伝えください

川上ing 発行：川上村定住促進課

川上村 〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫 1335 番地の7

かわかみんぐ

検索

<http://www.vill.kawakami.nara.jp/move>

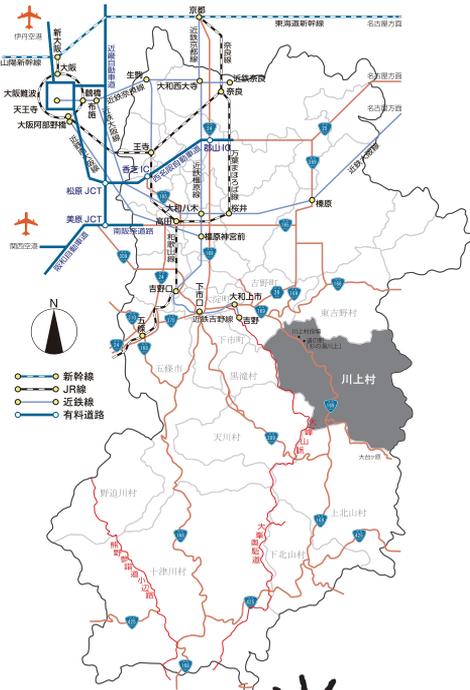


●近鉄電車で

大阪阿部野橋	近鉄特急約1時間10分	大和上市 コミュニティバス 約40分
京 都	近鉄特急約1時間35分 (橿原神宮前のりかえ)	
近鉄名古屋	近鉄特急約2時間50分 (大和八木・橿原神宮前のりかえ)	

●車で（南阪奈道路・西名阪自動車道・名阪国道から）

葛城I.C	R165（大和高田バイパス）→橿原→R169 約1時間
郡山I.C	R24→橿原→R169 約2時間
針I.C	R369→橿原→R370→壺垣内→県道16・262→R169 約1時間10分
柏原I.C	R165→県道30→名柄→R309→檢垣本→R169 約1時間30分



川上村(迫)

川上ing[®]

～かわかみんぐ～